

プロジェクトリーダー:瀬戸市役所環境課

事業実績調書

| | |
|--|--|
| (1) プロジェクト名 | オオサンショウウオの里を守るプロジェクト |
| (2) プロジェクトの成果 (※そのような成果が得られたかについて具体的に記載) | <p>現地調査では、既存資料には記載のなかった植物を見つけるなど新しい発見があった。</p> <p>また、地元での夜間観察会に参加したことで地元の方の特定地区への想いを感じることができ、ただ自然を守るというだけでなく、この地域に愛着を持ってもらえるような看板デザインにしていくことができた。</p> |
| (3) プロジェクト実施内容 (※事業の実施方法、時期、場所、回数、市民への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載) | <p>植物の現地調査 (令和2年4月～5月)</p> <p>既存資料に記載のない植物として、シライトソウ、ホウビシダ (愛知県レッドリスト掲載種) などを見つけた。</p> <p>8/8 オオサンショウウオ夜間観察会への参加</p> <p>瀬戸市文化課が主催する夜間観察会に参加し、HP、看板の内容に使える資料収集や現地写真撮影、関係者へのヒアリング調査を進めた。</p> <p>ジオラマ制作</p> <p>特定地区のジオラマの制作。現地調査で感じた地形の感覚に近づけるため、試行錯誤をしながら制作を進めた。ジオラマへのプロジェクションマッピングの投影も行うので、色は白とした。</p> <p>ホームページ制作</p> <p>特定地区をPRするためのホームページの制作。特定地区内に設置する看板と連動できるような情報を掲載していく。</p> <p>紙芝居制作</p> <p>看板のデザインである昔話を元に紙芝居を制作した。次年度には、紙芝居の読み聞かせ動画を youtube にて配信し、このプロジェクトと自然保護・保全地区のPRを行っていく予定。</p> <p>看板制作</p> <p>オオサンショウウオの人口巣穴付近と東海自然歩道の入り口付近の2か所に看板を設置する。</p> <p>この地域の生態系を紹介するものと、下半田川に伝わる昔話をベースにした看板を制作。看板内にクイズや、動物の鳴き声が聞けるQRをつけるなど、子どもから大人まで楽しみながら読むことができる内容としている。また、現在制作中のホームページへのリンクQRもついており、それぞれの成果物が連動するような仕掛けとなっている。</p> <p>デザインについては、学生が中心になって考え、地元の有識者の方からも意見をいただき、ブラッシュアップしていった。次年度には、看板のPRのためのイベントが開催できればと考えている。</p> |

(4) プロジェクトの今後の課題と展望

【課題】

新型コロナウイルスの影響により、当初のスケジュールが大幅に遅れ、今年度実施できなかったものもある。次年度以降も少なからず影響があると思われるので、このプロジェクトについてどのように周知しPRしていくかは課題である。

【展望】

次年度には、生態系について学ぶカードゲームの制作やプロジェクションマッピングの映像制作を行う予定。また、主要な樹木に対して樹名板を制作し東海自然歩道への集客と不法投棄への抑止力としていきたい。コロナウイルスの状況にもよるが、看板やジオラマのお披露目を兼ねたイベントも開催していきたい。